

No. 1	事業名	全国瞬時警報システム（Jアラート）の整備	補正 予算額	58,700 千円
-------	-----	----------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

人工衛星を介して発信される緊急地震速報、津波警報・注意報、国民保護に関する情報など緊急情報を、防災行政無線等で瞬時に市民に伝達することにより、災害等の被害の軽減を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

全国瞬時警報システム（Jアラート）を城崎、日高、出石地域の防災行政無線システムに整備する。

併せて、Jアラートを庁内 LAN に接続し、市役所庁舎をはじめ小中学校等にも緊急情報を提供する。

(2) 事業期間

平成 21 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

早期に発注し、受信設備の整備と防災行政無線の自動起動設備の整備を行い、併せて市役所庁舎等公共施設の放送設備への接続も実施する。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

58,700千円（全国瞬時警報システム整備事業補助金 10/10）

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

平成 20 年度において豊岡地域の防災行政無線システムへ Jアラート整備を実施し、豊岡、竹野、但東地域については、迅速な災害情報等の伝達が可能となったが、未整備の城崎、日高、出石地域への早急な整備を実施し、迅速な情報伝達を図る。

また、市庁舎、学校等に接続することにより、来庁者や児童生徒の安全確保を図る。

No. 2	事業名 新型インフルエンザ対策 (物資の備蓄)	補正 予算額	15,000 千円
-------	-------------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

5月16日、神戸市内で確認された新型インフルエンザは、但馬地方でも患者が確認されるなどその対応に追われることとなった。但馬地方ではその後、新たな感染者もなく、兵庫県は6月3日新型インフルエンザひょうご安全宣言を発信され、豊岡市においても但馬地域内の市町と共同し、但馬安心宣言を発信した。

しかしながら、今後、秋口にも再び新型インフルエンザの発生が懸念され、感染拡大が想定される状況にあり、感染症対策用物資の準備が必要となっている。

そのため、感染の拡大を出来る限り抑制し、市民の健康と安心を確保するため、当面必要と考えられる対策用物資を購入する。

2 事業概要

(1) 内 容

感染症対策物資の備蓄 (60日分)

感染防止用マスク 50,000 枚、感染防止用手袋 4,000 双、手指消毒剤(1L) 1,000 本
詰替え用消毒剤、感染症防護キット 200 セット、感染症防護衣 1,500 枚、除菌剤、
薬用ハンドソープその他

(2) 事業期間

平成21年度～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年6月下旬から備蓄開始

3 その他参考事項 (事業内容の詳細等)

- ・ 市立公共施設、観光施設等に消毒剤配備
- ・ 公的施設等の業務運営・維持継続のための感染防止用品の確保
- ・ 感染拡大を抑制するための業務確保物品の確保

No.3 事業名 道路防災対策事業	補正 予算額	40,000 千円
-------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

台風や近年のゲリラ豪雨による路面等冠水常襲地の解消に向け、市街地南部等の道路側溝の改修を行い、安全で安心なまちづくりを進める。

2 事業概要

(1) 内 容

- ・道路浸水対策（側溝改修） 桜町区内

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

C = 40,000千円

No.4 事業名 河川堆積土砂除去事業	補正 予算額	20,000 千円
---------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

台風や近年のゲリラ豪雨による水害への不安は大きく、準用河川前川等の堆積土砂撤去を行い、安全で安心な水に強いまちづくりを進める。

2 事業概要

(1) 内 容

・河川堆積土砂の除去 4河川（準用河川前川・宮井川・森尾川・田湊川）

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 全体事業費

C=20,000千円

No.5	事業名 高度救急活動の確保 (二相性除細動器)	補正 予算額	9,000 千円
------	-------------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

安全で有効性に優れた除細動器を整備し、心肺停止傷病者に対する救命率の向上を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

城崎分署及び竹野出張所配備の救急車に積載している単相性除細動器を、安全性・有効性ともに優れている二相性除細動器に更新する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年 6月 仕様書作成・起工

平成21年 7月 入札・契約締結

平成21年 9月 納品・運用開始

(5) 全体事業費

16,621千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

過去3年間の除細動実施件数24件。内6名が1カ月生存あり。

No.6	事業名	消防装備の充実 (空気呼吸器の整備)	補正 予算額	3,300 千円
------	-----	-----------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

火災消火活動上、特に建物火災における屋内進入時に、必要不可欠な空気呼吸器を更新し、人命救助や被害の軽減を図る。

2 事業概要

(1) 内容

空気呼吸器6基、空気ボンベ12本購入

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年 6月 仕様書作成、起工

平成21年 7月 入札、契約締結

平成21年 9月 納品、運用開始

(5) 全体事業費

16,621千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

空気呼吸器の更新で、従前に比較し充填容量が2倍の空気ボンベを使用することにより、活動時間の延長が見込まれ、また軽量化で現場活動の迅速化が図られ、消火時間の短縮に繋がる。

No. 7	事業名 消防情報通信システムの改良 (位置情報システム)	補正 予算額	2,400 千円
-------	------------------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

「新発信地表示システム」(NTT西日本の固定電話からの119番通報に係る位置情報を必要に応じて取得できるシステム)と「位置情報通知システム」(携帯・IP電話からの119番通報に係る位置情報を消防本部に通知するシステム)を統合させる。

2 事業概要

(1) 内容

平成20年3月の消防指令センター開設当初から119番の発信地情報を「新発信地表示システム」(NTT西日本)と「位置情報通知システム」(携帯電話4事業者・IP電話事業者4事業者)の2システムから入手していたものであるが、「新発信地表示システム」を現行の「位置情報通知システム」に統合させることで、システムを単純化した「位置情報通知システム(統合型)」に移行し、システムの一元化を図る。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年10月 仕様書作成、起工
平成21年11月 契約締結
平成22年 1月 整備着工
平成22年 3月 完成検査、試験運用
平成22年 4月 運用開始

(5) 全体事業費

16,621千円

3 その他参考事項(事業内容の詳細等)

位置情報通知システム(統合型)の整備については、平成20年12月に総務省消防庁から積極的に取り組み整備するよう通知されている。

また、統合型への移行期間は平成21年10月以降から6年間(平成27年9月)と示され、この間に統合型へ移行しなければならない。

※今後6年間は「新発信地表示システム」と「位置情報通知システム」の並行運用期間。「新発信地表示システム」は、並行運用期間終了後事実上廃止される。

No.8 事業名 診療所医療機器の整備	補正 予算額	26,600 千円
---------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

市立診療所の医療用機器等を整備更新し、的確な日常診療を確保するとともに受診者の安全安心な医療体制を確保し、受診者に対するサービス向上と診療収入の増加を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

森本診療所（事業費 4,000 千円）

- ①自動小型分包機
- ②自動体外式除細動器（AED）

神鍋診療所（事業費 16,000 千円）

- ①フルデジタル超音波診断装置
- ②電子内視鏡システム（内視鏡洗滌消毒装置含む）
- ③ベット型マッサージ機

合橋診療所・高橋診療所（事業費 1,100 千円）

- ①高圧蒸気滅菌器（合橋診療所）
- ②フルオート解析心電計（高橋診療所）

資母診療所（事業費 5,500 千円）

- ①無影灯
- ②デジタルX線画像診断システム

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

- ・7月入札審査会
- ・8月入札・契約
- ・10月下旬完成

(5) 全体事業費

26,600千円

No.9	事業名 災害時用衛星携帯電話の設置	補正 予算額	7,920 千円
------	-------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

災害時における有線通信網切断による地区の孤立を防止する。

2 事業概要

(1) 内 容

災害時において、携帯電話不感全地区に衛星携帯電話を設置する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

早期に設置する。

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

7,920千円 $\left(\begin{array}{l} \text{地域活力基盤創造交付金 } 6/10 \\ \text{孤立集落防災体制強化事業補助金 } 1/2 \end{array} \right)$

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

携帯電話不感地区10地区に衛星携帯電話を設置する。

豊岡市三原、竹野町川南谷、竹野町銅山、竹野町段、日高町大岡、
日高町河江、出石町暮坂、出石町奥山、但東町西谷、但東町奥赤

機器購入費 2,415,000円（地域活力基盤創造交付金対象事業費）

運用経費 5,505,000円（孤立集落防災体制強化事業補助金対象事業費）

契約料 @10,500円×10台 = 105,000円
 電話料 @9,000円×10台×12月×5年=5,400,000円
 5,505,000円
 （基本使用料+通話料等5年間分）

No.10 事業名 公用車の環境対応車への切替え	補正 予算額	16,230 千円
--------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

豊岡市地球温暖化防止対策の一環として、環境対応車への切替えを積極的に行う。

使用頻度が多く走行距離が長い車両、燃費の悪い車両、老朽化した車両を環境対応車であるハイブリッド車に切替え、二酸化炭素排出量を削減することにより、「環境都市豊岡」の実現に向けた取り組みに寄与するものである。

また、導入したハイブリッド車に環境問題への意識を高めるためのデザインや観光をPRするラッピングを施し、豊岡を積極的にアピールする。

2 事業概要

(1) 内 容

- ① 老朽化した公用車を廃車し、環境対応車であるハイブリッド車を6台導入する。
- ② 導入したハイブリッド車3台に、豊岡をPRするラッピングを施す。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年7月 仕様書作成、入札、契約
平成22年1月 納車、ラッピング

(5) 全体事業費

16,230千円

公用車の環境対応車への切替えにかかる削減効果

1. 燃料費は、1年間で約58万円削減できる。
2. 購入時に伴う重量税削減効果は、約34万円である。
3. CO2排出量は、1年間で1万1千キログラム(対19年度 0.06%)削減できる。
(杉の木を787本植えたことと同じ効果がある。)

号車	現車両	年間走行距離(km)	年間燃料消費量(L)	年間燃料費(円)	燃費(km/L)	エコ車両	エコ燃料消費量(L)	エコ燃料費(円)	エコ燃費(km/L)	燃料費削減効果(円)	重量税減税効果(円)	CO2削減効果(kg)
35	エステイマ(リース)	26,565	1,733	206,227	15.3	プリウス	886	105,375	30	100,853	56,700	1,966
403	グランビア(軽油)	7,191	913	108,647	7.9	プリウス	240	28,524	30	80,123	56,700	1,562
2	シーマ(ハイオク車)	10,414	1,318	170,022	7.9	プリウス	347	41,309	30	128,713	56,700	2,252
6	プリウス(初期型)	14,927	1,748	208,012	8.5	インサイト	574	68,320	26	139,692	56,700	2,723
95	レガシー	7,598	813	96,747	9.3	インサイト	292	34,775	26	61,972	56,700	1,208
93	カルタス	7,692	860	102,340	8.9	インサイト	296	35,206	26	67,134	56,700	1,309
合計		74,387	7,385	891,995			2,635	313,509		578,486	340,200	11,021

※ ガソリンは119円/L、ハイオクは129円/L、軽油は104円/Lで試算した。(税込)

※ 新車購入時にかかる車両重量税は、ハイブリッド車は100%減税である。

※ ガソリンを1L消費した場合、2.32kgのCO2を排出する。

※ 杉の木1本の年間CO2吸収量は約14kgである。

No.11-1 事業名 太陽光発電設備の整備	補正 予算額	567,600 千円
------------------------	-----------	------------

1 事業目的、趣旨等

地球温暖化対策に伴う二酸化炭素削減に寄与し、循環型のまちづくりを推進するため、太陽光発電による自然エネルギーの利用を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

市民の環境に関する意識を高め、また環境教育の教材として活用するため、学校およびデイサービスセンター等に太陽光パネルの設置を行う。

これらのパネル設置により、最大出力 533kW、CO2 排出量で 16 万 7,629 kg が削減できるが、これは杉の木を 11,973 本植えたことと同じ効果がある。

(2) 事業期間

平成 21 年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

学校関係：7 月内示、8 月設計、9 月契約、12 月竣工予定。

その他、施設による。

(5) 全体事業費

567,600 千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

① 小学校 17 校（事業費：358,700 千円）

（豊岡小、八条小、三江小、中筋小、奈佐小、港東小、神美小、城崎小、竹野南小、清滝小、三方小、静修小、八代小、弘道小、小坂小、小野小、合橋小）

② 中学校 4 校（事業費：84,400 千円）

（城崎中、竹野中、出石中、但東中）

③ デイサービスセンター 5 箇所（事業費：90,000 千円）

（(予定) 豊岡、竹野、城崎、日高東部、但東）

④ 日高総合支所（事業費：30,000 千円）

⑤ 植村直己冒険館（事業費：4,500 千円）

太陽光発電にかかるCO₂削減効果

1. CO₂排出量は、1年間で約16万8千キログラム削減できる。

(杉の木を11,973本植えたことと同じ効果がある。)

2. 原油使用量は、1年間で約12万キロリットル削減できる。

施設	最大出力(kW)	年間発電量(kWh)	原油削減量(kl)	CO ₂ 削減効果(kg)
小学校(17校)	340	340,000	77,180	106,930
中学校(4校)	80	80,000	18,160	25,160
デイサービス(5箇所)	88	88,000	19,976	27,676
日高総合支所	20	20,000	4,540	6,290
植村直己冒険館	5	5,000	1,135	1,573
合計	533	533,000	120,991	167,629

※ 年間発電量を発電量(kW)の1,000hとした

※ 日本国内においては、製品の最大出力1kW当たりの年間発電量は平均約1000kWh/kWである。設置地域によって異なり、1995～2003年度までの8年間にわたる調査例では、最も少ないのは秋田県で平均795kWh/kW/年、最も多いのは高知県で平均1116kWh/kW/年と報告されている。天候による年ごとの変動量は、全国平均で最大1割程度である。出典：フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

※ 結晶系シリコン太陽電池によるCO₂削減効果は、1kWシステム当たり年間で314.5kg。原油削減量は、1kWシステム当たり年間で227リットルになる。(出典：太陽光発電協会「公共・産業用太陽光発電システム」)。

※ 杉の木1本の年間CO₂吸収量は約14kgである。

参考)これまでの実績

市内の施設(民間施設含む)における設置箇所

施設	最大出力(kW)	年間発電量(kWh)	原油削減量(kl)	CO ₂ 削減効果(kg)
特別養護老人ホーム 「豊岡の里」	100	100,000	22,700	31,450
カネカソーラーテック工場棟	170	170,000	38,590	53,465
公立豊岡病院	40	40,000	9,080	12,580
城崎総合支所	11	10,690	2,427	3,362
その他(※)	226	226,440	51,402	71,215
合計	547	547,130	124,199	172,072

※ コウノトリの郷公園、三江幼稚園、豊岡公民館、東デイサービスセンター、城南保育園、防災通信センター、市営今森団地(集会所)、八条幼稚園、五荘公民館、介護老人保健施設豊岡シルバーバーステイ、コープデイズ豊岡、カネカソーラーテック社、気比の浜キャンプ場外灯、奈佐地区公民館、市立西保育園、こうのとりの本館、北但広域療育センター、ハチゴロウの戸島湿地管理棟、ハチゴロウの戸島湿地外灯、木屋町小路、竹野スノーケルセンター、赤崎ふるさと農道トンネル、特別養護老人ホームたじま荘、小坂小学校、福住地区公民館、寺坂地区公民館、但東中学校、広域農道いずたんトンネル、たんたん温泉福寿の湯、たんたん温泉福寿の湯外灯

累積効果

「61,475本の杉の木が1年間に吸収するCO₂量を削減できている」

施設	発電量(kWh) (※1)	原油削減量(kl)	CO ₂ 削減効果(kg)
民間施設含む計34箇所	2,736,570	621,201	860,651

※ 民間施設については、市が把握しているものに限る。

※1 各施設の年間発電量に経過年数を掛けた値の合計値

No.11-2 事業名 蛍光灯省エネタイプへの切替え	補正 予算額	48,400 千円
----------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

豊岡市地球温暖化対策の一環として、市の施設の蛍光灯を省エネタイプに交換する。省エネタイプに切り換えることにより、消費電力量を削減することができ、電気料金を抑えるとともに、CO2の削減効果も大である。

但し、本庁は新庁舎建設により別途設計するため、今回、5総合支所及び小・中学校を対象とする。

2 事業概要

(1) 内容

- ①各総合支所、市内30小学校及び10中学校の既存の直管型蛍光灯をすべてインバータ付・省エネタイプの蛍光灯に取り替える。
- ②5総合支所及び小中学校蛍光灯数・・・12,100本
- ③蛍光灯購入費（直管型蛍光灯：笠、インバータ付） 48,400千円
（12,100本（6,050セット）分：工事費含む。）

(2) 事業期間

平成21年7月1日～

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

平成21年7月	5支所分の工事設計書を作成
8月上旬	工事入札、契約
8月～12月	工事（城崎総合支所から順次）

(5) 全体事業費

48,400千円

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

平成21年2月に策定した豊岡市地球温暖化防止対策実行計画により、今後5年間CO2削減に向けた取り組みを行う。しかし現在と同じ施設・設備という条件のもと、CO2を減らすことは、なかなか困難である。そこで、庁内施設の設備を順次省エネタイプの製品に切り換えていくことで成果を上げていく必要がある。

蛍光灯の省エネタイプへの買い換えは、初期投資はかかるものの、電気料金の削減（年間約580万円の削減見込み）により、長い目でみれば経費節減につながる。また環境保全にも寄与する。

（参 考）

この事業によるCO2の削減見込量：163,838kg

これは、平成19年度豊岡市役所CO2総排出量の0.9%に相当する。

また「杉の木」を11,700本植樹した効果がある。（杉の木1本あたりCO2吸収量14kg/年）

No.11-3	事業名	窓ガラスへの遮熱コーティング (出石総合支所)	補正 予算額	4,500 千円
---------	-----	----------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

出石総合支所庁舎はガラス面の面積が大きいいため、直射日光量も大きく室温にも影響が出ている。夏季シーズンは、窓附近の温度は冷房時でも30℃を下回る事がなく、空調への影響は大きく、電力使用量等全体経費への影響も少なくない。

窓ガラスの内側にコーティング剤を塗布し、遮光・遮熱を図り、空調機器の稼働率を下げ、省エネ化を図るものである。

2 事業概要

(1) 内 容

- ・ 庁舎全体の窓ガラスを、アットシールド・クリアコーティングを施す。
- ・ 対象窓ガラス面積は、495㎡
- ・ 単価は、11,000円/㎡

(2) 事業期間

平成21年6月23日～7月末

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

補正予算成立後、夏季最盛期までに速やかに対応

(5) 全体事業費（補助率・負担率等）

4,500千円（全額、国庫負担）

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

コーティング剤を塗布により、年間約8,000千円の電気代の5%程度（約400千円）削減できる。

No.12	事業名	バイオマスタウンの推進(公民館へのペレットストーブの設置)	補正 予算額	2,400 千円
-------	-----	-------------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

地球温暖化防止、環境負荷の削減、CO₂の排出量を削減するために、住民の身近な施設である地区公民館にペレットストーブを設置する。

2 事業概要

(1) 内 容

石油ストーブなどの暖房設備が老朽化していて、広範囲を暖房するために既存のエアコンでは光熱費がかさむため、豊岡市のバイオマスタウン構想に沿って環境負荷を減らしてCO₂の排出量を削減するため、緊急性を伴う公民館3館にペレットストーブを設置する。

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

豊岡市

(4) 今後のスケジュール

備品・用品の機種選定を行い、年度内に購入する。

(5) 全体事業費

2,400 千円 (800 千円×3 台)

3 その他参考事項(事業内容の詳細等)

導入する公民館と設置場所

- ・国府地区公民館 玄関ロビーに設置
- ・清滝地区公民館 県民交流広場に設置
- ・三方地区公民館 2階会議室に設置(既存の暖房設備が老朽化)

これら3館の導入状況を分析し、ペレットストーブ導入による高熱水費の削減効果とCO₂排出量の削減効果のデータ収集も行う。

No.13	事業名	環境創造型農業の推進 (モミガラ保管施設の整備)	補正 予算額	13,000 千円
-------	-----	-----------------------------	-----------	-----------

1 事業目的、趣旨等

環境創造型農業の推進に必要な地元有機資材（堆肥）を確保するため、堆肥生産に必要なモミガラ保管施設を整備し、耕畜連携による資源循環型農業の振興を図る。

2 事業概要

(1) 内 容

堆肥生産組合が実施するモミガラ保管施設（庫）の整備費用の一部を補助し、安定的な堆肥生産を行うとともに、畜産農家と耕種農家の連携による循環型農業（耕畜連携）の拡大を図る。

モミガラ保管庫 2棟（保管量1棟当たり50t）

(2) 事業期間

平成21年度

(3) 事業主体

堆肥生産組合

(4) 今後のスケジュール

年度内整備

(5) 全体事業費

13,000千円（補助率90%以内）

3 その他参考事項（事業内容の詳細等）

環境創造型農業の取組み面積、とりわけ「コウノトリ育む農法」による栽培面積が増加する状況の中、地元有機肥料（堆肥）の生産とその確保が必要である。

また未利用資源（バイオマス）であるモミガラの有効利活用を推進するため、「モミガラ保管庫（施設）」を整備し、安定的な堆肥生産施設のモデル事業として取組む。

No.14	事業名	環境経済戦略の推進(首都圏への コウノトリ育む米の販売)	補正 予算額	2,776 千円
-------	-----	---------------------------------	-----------	----------

1 事業目的、趣旨等

豊岡市・コウノトリ野生復帰とコウノトリ育むお米の首都圏等における認知度を高めることにより、お米をはじめとする豊岡製品の消費を拡大するとともに、首都圏等からの観光客の増加を目指す。

2 事業概要

(1) 内 容

豊岡市の魅力・コウノトリ野生復帰の取り組みと「コウノトリ育むお米」の首都圏等での認知度を高めるための事業を実施する。

- ・ J A たじまと連携し、首都圏の大規模小売店（イトーヨーカドーなど）の店頭において、農家や J A たじま、市職員がコウノトリ育むお米とその生産地である豊岡を紹介する。
- ・ 情報発信・普及啓発機器等の整備

(2) 事業期間

平成 21 年度

(3) 事業主体

豊岡市（補助事業の実施は事業者）

(4) 今後のスケジュール

首都圏の大規模小売店でのお米の販売キャンペーンの実施 平成 21 年秋
(新米販売に合わせて)

(5) 全体事業費

2, 7 7 6 千円